

「多摩市子ども・子育て・若者プラン～第2期多摩市子ども・子育て支援事業計画」
幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の数値目標及び実績について

<評価の指標>

...

...

...

計画最終年度（R6）の計画（目標値）に対する実績値の割合が80％以上

計画最終年度（R6）の計画（目標値）に対する実績値の割合が50％～79％

計画最終年度（R6）の計画（目標値）に対する実績値の割合が50％未満

令和4年8月4日
第2回多摩市子ども・子育て会議
報告資料1-2

事業区分	備考	担当課	目標事業量											
			R6		R2				R3					
			計画（目標）値		実績		推進状況 評価結果	推進状況 割合	実績		推進状況 評価結果	推進状況 割合	目標値と実績値に係る増減理由	課題・今後の方向性
認定こども園・幼稚園 （1号認定）	確保量	子育て支援課	2,211	人	2,190	人	➡	99.1%	2,226	人	➡	100.7%	計画と同程度で、利用定員数を確保した。	新たな保育所等の整備や、既存施設の増改築に合わせた定員の増を行い、保育枠の確保に努めた。今後は、新型コロナウイルス感染症や少子化の影響に注視しながら取り組みを進めていくとともに、保育枠の空きが生じている地域に対する対策を検討していく。
認定こども園・保育所 （2号認定）	確保量	子育て支援課	1,827	人	1,760	人	➡	96.3%	1,836	人	➡	100.5%	認可保育所の開所、移転拡大や大規模改修により利用定員数を確保した。	
地域型保育・認定こども園・保育所 （3号認定）	確保量	子育て支援課	1,593	人	1,512	人	➡	94.9%	1,603	人	➡	100.6%	認可保育所の開所、移転拡大や大規模改修により利用定員数を確保した。	
利用者支援事業	地域子育て支援拠点実施箇所数	公立保育園 （子育てセンター）	10	箇所	1	箇所	➡	90.0%	1	箇所	➡	100.0%		令和4年3月に、バルテノン多摩4階に新たな子育て支援拠点となる「こどもひろばOLIVE」を開設した。令和3年度はコロナ禍において、感染予防対策を徹底しながら子育て支援拠点を開所するとともに、令和2年度から引き続き、YouTubeでの映像配信を行い、情報提供や児童館とのつながりを意識できるよう取り組みを推進した。
		子ども家庭支援センター			1				2					
		児童青少年課 （児童館）			7 （1）※1				7 （1）※1					
地域子育て支援拠点	常設子育てひろば実施箇所数	公立保育園 （子育てセンター）	10	箇所	1	箇所	➡	90.0%	1	箇所	➡	100.0%		令和4年3月に、バルテノン多摩4階に新たな地域子育て支援拠点となる「こどもひろばOLIVE」を開設した。コロナ禍においても子育て世帯の居場所確保の観点から、感染対策を徹底した上で運営を行っていく。
		子ども家庭支援センター			1				2					
		児童青少年課 （児童館）			7 （1）※1				7 （1）※1					
妊婦健康診査	受診回数	健康推進課	14	回	14	回	➡	100.0%	14	回	➡	100.0%	妊婦の健康管理、経済的負担の軽減のために昨年度と同水準で実施。	今後も引き続き妊婦健康診査の重要性を普及啓発し、確実に受診することを勧め、妊婦の経済的負担を軽減するとともに、健康管理の向上を図る。
乳児家庭全戸訪問事業	延べ訪問人数	健康推進課	860	人	747	人	➡	86.9%	718	人	➡	83.5%	出生数の減少や新型コロナウイルス感染症蔓延による影響があり、やや減少していると考えられる。	引き続き、感染症対策を徹底した上で、乳幼児家庭訪問及び、母子・家族の健康状態の確認と支援を行う。なお、計画（目標）値については、新生児数をあらかじめ想定した上で設定しているが、少子化等の影響により出生数が減少していることから、当該年度の出生数を分母として推進状況の確認を行う。
養育支援訪問事業	育児・家事援助＋専門的相談支援延べ人数	子ども家庭支援センター	4,000	人	2,015	人	➡	66.2%	2,038	人	➡	65.3%	出生数の減少や新型コロナウイルス感染症蔓延による影響があり、やや減少していると考えられる。	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、養育支援訪問数が減少した。今後についても感染症対策を徹底した上で、各関係機関と連携して、支援を必要とする家庭を早期に把握し、安定した養育環境となるよう専門的相談支援及び家事育児支援等を行う。さらに、継続的な支援を行い、児童虐待の未然防止の観点からも、家庭に関わる機関が連携し、適切な支援につながるよう連携強化に努める。
		健康推進課			633				575				出生数の減少や新型コロナウイルス感染症蔓延による影響があり、やや減少していると考えられる。	
子どもショートステイ事業	確保量	子ども家庭支援センター	2,190	人 （枠）	2,190	人 （枠）	➡	100.0%	2,190	人 （枠）	➡	100.0%		市内の養育協力家庭及び児童養護施設において事業を実施し、コロナ禍においてもセーフティネット事業であることから継続的に事業を実施した。セーフティネット事業であるため、今後も引き続き事業を実施するとともに、養育協力家庭の受託者拡大に向けた取組も行っていく。
ファミリー・サポート・センター	年間活動実績数	子ども家庭支援センター	5,000	件	2,037	件	➡	40.7%	1,935	件	➡	38.7%	新型コロナウイルス感染症による減	感染対策を講じながら定期的な説明会、講習会等を通じて、利用会員・提供会員の拡大に努める一方、活動件数については、コロナ下で送迎利用等が減少したため、令和2年度に引き続き、全体として活動件数は減少している。コロナ禍によりリモートワーク等も定着する中で、子育て世帯の環境も変わってきている。会員相互の援助活動として地域に根差した活動の強みを生かし、環境変化に柔軟に対応しながら取り組みを進めていく。
一時預かり事業	幼稚園・保育所一時保育延べ利用者数	子育て支援課	82,700	人	66,312	人	➡	85.3%	48,198	人	➡	59.5%	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大幅に減少していると考えられる。	新型コロナウイルス感染症や少子化の影響により、利用・契約数が減少したが、各施設電話相談を受け付ける等手法を変えた支援を行った。今後は、一時的保育事業の定員構成等あり方の検討を進める。
	リフレッシュ一時保育延べ利用者数	子ども家庭支援センター			4,196				1,004				新型コロナウイルス感染症による減	「こどもひろばOLIVE」を新たに開設し、一時保育事業を実施した。リフレッシュ一時保育については、理由事由を問わない預かり事業であるため、できるだけ多くの市民が気軽に利用できるよう、引き続き取り組んでいく。また、こどもひろばOLIVEの一時保育については、より多くの方に利用してもらえるよう、引き続き広報周知を図っていく。
延長保育事業	認可保育所＋認定こども園実施箇所数	子育て支援課	23	箇所	23	箇所	➡	100.0%	24	箇所	➡	104.3%	計画通り認可保育所全園、認定こども園1園で実施。	新型コロナウイルス感染症の影響により、リモートワーク等が普及してきた中で、利用者数は減少したが、引き続き延長保育事業を利用する家庭の保育ニーズに対応できるよう、箇所数の維持を図っていく。
病児・病後児保育事業	確保量	子育て支援課	2,880	人 （枠）	4,320	人 （枠）	➡	150.0%	3,960	人 （枠）	➡	137.5%		令和3年12月末日をもって1箇所閉所となったため、それ以後は1箇所での病児・病後児保育事業を実施し、保護者の子育てと就労等との両立支援を図った。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少した。今後は、希望者が利用できる枠を確保しつつ、運営面とのバランスを精査していく。
学童クラブ	確保量	児童青少年課	1,916	人	1,876	人	➡	97.9%	1,921	人	➡	100.3%	計画通り、学童クラブを開設し、定員を確保した。	令和3年4月に東寺方小学学童クラブ第三を開設し、45人の定員を増員した。これにより、東寺方小学校区の待機児童が解消され、全体の待機児童数も前年度の70人から43人に減少した。学童クラブの新規整備により、待機児童数は減少しつつあるが、地域によっては待機児童が解消していないため、児童館や放課後子ども教室等、放課後の子どもの居場所を充実させ、施設整備以外の方法で待機児童解消に向けた取組を推進する。
実費徴収に係る補足給付事業	実施箇所数	子育て支援課	9	箇所 （枠）	9	箇所 （枠）	➡	100.0%	9	箇所 （枠）	➡	100.0%		新型コロナウイルス感染症に伴う登園自粛要請等の影響により、在宅保育を行う家庭が増えたことから、利用者数が減少した。本事業は、幼稚園等を利用する家庭の経済的負担軽減施策であることから、今後も継続して実施していく。

※1：（ ）の数字は地域子育て支援拠点箇所数のうち、一ノ宮児童館の連携館である桜ヶ丘児童館の内数を示します。